

平成27年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	東京都		市町村類型	IV-1		指定団体等の指定状況		区分	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分	平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)
						財政健全化等	×						
市町村名	町田市		地方交付税種地	1-7		財源超過	×	歳入総額	147,811,172	143,759,659	実質収支比率	6.0	5.6
人口	27年国調(人)	432,348	産業構造(※5)	中部	×	歳出総額		142,853,477	139,361,513	経常収支比率	90.3	92.9	
	22年国調(人)	427,016		首都	○	歳入歳出差引		4,957,695	4,398,146	(※1)	(92.6)	(97.2)	
	増減率(%)	1.2		近畿	×	翌年度に繰越すべき財源		376,379	134,039	標準財政規模	76,655,268	75,860,314	
住民基本台帳人口(※7)	28.01.01(人)	426,937	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	実質収支	4,581,316	4,264,107	財政力指数	0.97	0.97
	うち日本人(人)	421,793		1,331	1,638	指数表選定	○	単年度収支	317,209	93,644	公債費負担比率	6.3	6.6
	27.01.01(人)	426,648	第2次	0.8	0.9	過疎	×	積立金	4,812,953	2,976,052	健全化判断比率		
	うち日本人(人)	421,746		31,698	38,150	山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-
	増減率(%)	0.1	第3次	19.2	20.5			積立金取崩し額	3,457,419	3,999,743	連結実質赤字比率	-	-
	うち日本人(%)	0.0		132,201	139,655			実質単年度収支	1,672,743	-930,047	実質公債費比率	-1.7	-2.0
面積(km ²)	71.80		80.0	75.1			基準財政収入額	57,139,362	53,994,437	資金不足比率(※4)			
人口密度(人/km ²)	6,022						基準財政需要額	58,152,426	55,396,625				
世帯数(世帯)	186,711						標準税収入額等	73,639,973	70,468,234				
職員状況													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	75,007,656	73,588,948		
	市区町村長	1	10,600		一般職員	2,078	6,543,622	3,149	うち公的資金	46,890,777	45,154,763		
	副市区町村長	2	9,000		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	12,915,282	13,336,632		
	教育長	1	8,200		うち技能労務職員	235	803,230	3,418	収益事業収入	40,000	20,000		
	議会議長	1	6,400		教育公務員	5	21,628	4,326	土地開発基金現在高	3,000,000	3,000,000		
	議会副議長	1	5,800		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	6,719,996	5,364,462		
	議会議員	34	5,500		合計	2,083	6,565,250	3,152	減債基金	-	-		
						ラスバイレス指数				100.9	5,268,680	4,648,347	
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧								(※3)
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名				
(1) 一般会計		(2) 町田市国民健康保険事業会計		(5) 町田市病院事業会計		(6) 町田市下水道事業会計		(7) 東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(16) 町田市土地開発公社			
		(3) 町田市介護保険事業会計						(8) 東京都後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)		(17) 町田まちづくり公社			
		(4) 町田市後期高齢者医療事業会計						(9) 東京たま広域資源循環組合		(18) 町田市勤労者福祉サービスセンター			
								(10) 多摩ニュータウン環境組合		(19) エルム・スリー管理			
								(11) 南多摩斎場組合		(20) 町田センタービル			
								(12) 東京市町村総合事務組合(一般会計)		(21) 町田市文化・国際交流財団			
								(13) 東京市町村総合事務組合(東京都市町村民交通災害共済事業特別会計)		(22) 町田市観光コンベンション協会			
								(14) 東京都十一市競輪事業組合		(23) まちだエコライフ推進公社			
								(15) 東京都六市競艇事業組合		(24) 町田新産業創造センター			

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	68,373,816	46.3	63,594,546	81.9	普通税	62,773,318	91.8	374,411	
地方譲与税	719,162	0.5	719,162	0.9	法定普通税	62,773,318	91.8	374,411	
利子割交付金	458,631	0.3	458,631	0.6	市町村民税	34,464,110	50.4	374,411	
配当割交付金	550,666	0.4	550,666	0.7	個人均等割	706,872	1.0	-	
株式等譲渡所得割交付金	541,905	0.4	541,905	0.7	所得割	29,743,262	43.5	-	
地方消費税交付金	9,566,975	6.5	9,566,975	12.3	法人均等割	1,069,014	1.6	-	
ゴルフ場利用税交付金	42,566	0.0	42,566	0.1	法人税割	2,944,962	4.3	374,411	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	25,571,896	37.4	-	
自動車取得税交付金	323,555	0.2	323,555	0.4	うち純固定資産税	24,995,653	36.6	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	321,615	0.5	-	
地方特例交付金	308,784	0.2	308,784	0.4	市町村たばこ税	2,395,765	3.5	-	
地方交付税	1,098,774	0.7	1,013,064	1.3	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,013,064	0.7	1,013,064	1.3	特別土地保有税	19,932	0.0	-	
特別交付税	85,374	0.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	336	0.0	-	-	目的税	5,600,498	8.2	-	
(一般財源計)	81,984,834	55.5	77,119,854	99.3	法定目的税	5,600,498	8.2	-	
交通安全対策特別交付金	54,229	0.0	54,229	0.1	入湯税	6,700	0.0	-	
分担金・負担金	1,517,572	1.0	-	-	事業所税	834,460	1.2	-	
使用料	1,018,275	0.7	350,691	0.5	都市計画税	4,759,338	7.0	-	
手数料	1,921,622	1.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	26,211,312	17.7	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	17,918,509	12.1	-	-	合計	68,373,816	100.0	374,411	
財産収入	871,963	0.6	110,053	0.1					
寄附金	94,000	0.1	-	-					
繰入金	3,960,269	2.7	-	-					
繰越金	4,398,146	3.0	-	-					
諸収入	1,211,241	0.8	10,408	0.0					
地方債	6,649,200	4.5	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	2,000,000	1.4	-	-					
歳入合計	147,811,172	100.0	77,645,235	100.0					

徴収率 (%)	現・計 年	平成27年度		平成26年度	
		合計	市町村民税	合計	市町村民税
		99.0	97.1	98.8	96.3
		98.6	95.9	98.4	94.8
		99.4	98.3	99.1	97.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	19,106,962	実質収支	1,121,023
下水道	2,074,100	再差引収支	-4,793,381
病院	1,125,000	加入世帯数(世帯)	66,279
介護サービス	39,484	被保険者数(人)	108,165
上水道	-	被保険者	77
国民健康保険	7,337,664	1人当り	83
その他	8,530,714	保険税(料)収入額	277
		国庫支出金	83
		保険給付費	277

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	719,040	0.5	-	719,023	
総務費	16,719,286	11.7	651,155	14,816,880	
民生費	71,596,351	50.1	1,600,777	33,447,375	
衛生費	13,134,927	9.2	1,363,074	9,724,223	
労働費	353,354	0.2	-	353,345	
農林水産業費	322,626	0.2	104,780	237,128	
商工費	1,061,989	0.7	10,242	1,000,640	
土木費	10,709,310	7.5	3,191,152	8,015,184	
消防費	4,995,405	3.5	266,046	3,502,139	
教育費	17,227,759	12.1	4,908,251	12,159,349	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	6,013,430	4.2	-	6,011,671	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	142,853,477	100.0	12,095,477	89,986,957	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	74,652,094	52.3	39,471,950	39,365,233	49.4
人件費	22,504,005	15.8	21,071,901	21,039,742	26.4
うち職員給	14,574,365	10.2	13,443,291	-	-
扶助費	46,134,659	32.3	12,388,378	12,313,820	15.5
公債費	6,013,430	4.2	6,011,671	6,011,671	7.5
元利償還金	6,013,430	4.2	6,011,671	6,011,671	7.5
うち元金	5,230,492	3.7	5,228,961	5,228,961	6.6
うち利子	782,938	0.5	782,710	782,710	1.0
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	56,105,906	39.3	46,735,441	32,532,729	40.8
物件費	18,638,761	13.0	14,429,011	12,625,964	15.9
維持補修費	926,564	0.6	878,263	878,263	1.1
補助費等	12,736,688	8.9	9,694,037	8,449,107	10.6
うち一部事務組合負担金	1,154,113	0.8	879,210	870,216	1.1
繰出金	17,981,962	12.6	16,378,551	10,579,095	13.3
積立金	5,813,531	4.1	5,355,279	-	-
投資・出資金・貸付金	8,400	0.0	300	300	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	12,095,477	8.5	3,779,566	-	-
うち人件費	350,476	0.2	350,476	-	-
普通建設事業費	12,095,477	8.5	3,779,566	-	-
うち補助	3,882,934	2.7	314,256	-	-
うち単独	8,212,543	5.7	3,465,310	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	142,853,477	100.0	89,986,957	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成27年度 東京都町田市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	148,747	143,790	4,957	4,581	3,936	75,194	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
2							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成27年度

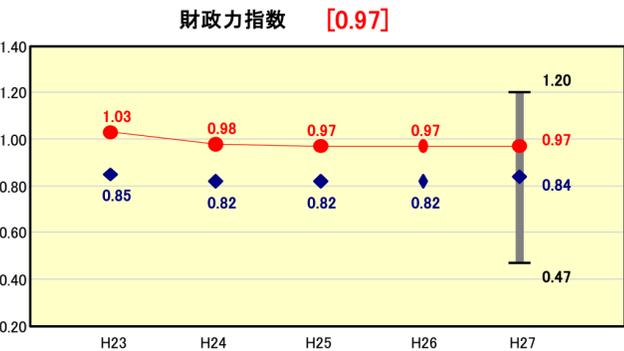
東京都町田市

人口	426,937	人(H28.1.1現在)	-	%
うち日本人	421,793	人(H28.1.1現在)	-	%
面積	71.80	km ²	-	%
歳入総額	147,811,172	千円	-	%
歳出総額	142,853,477	千円	-	%
実質収支	4,957,695	千円	-	%
標準財政規模	76,655,268	千円	-	%
地方債現在高	75,007,656	千円	-	%
実質赤字比率	-	%	-	%
連結実質赤字比率	-	%	-	%
実質公債費比率	-1.7	%	-	%
将来負担比率	-	%	-	%
市町村類型	H23 IV-1 H24 IV-1 H25 IV-1			
(年度毎)	H26 IV-1 H27 IV-1			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

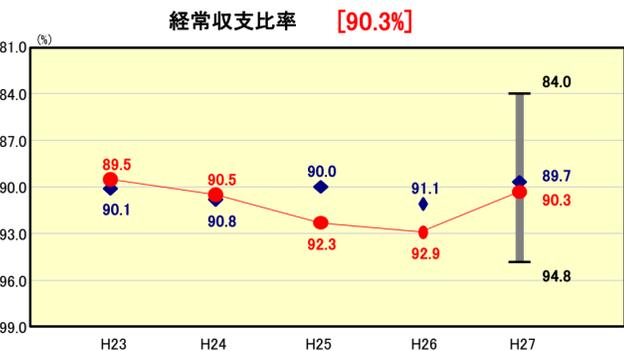
財政力



類似団体内順位 5/15 全国平均 0.50 東京都平均 0.74

財政力指数の分析欄
 平成27年度の財政力指数(3か年平均)は0.975である。平成23年度までの直近3か年平均では財政力指数は1を上回っていたが、平成22年度以降は単年度での財政力指数は1を下回っており、平成27年度は平成26年度から引き続いて3か年平均でも1を下回った。平成27年度単年度で見ると基準財政収入額が基準財政需要額を下回り0.983であった。地方消費税率の引き上げによる地方消費税交付金の増加などにより基準財政収入額は平成26年度に比べ増加した一方で、臨時財政対策債振替相当額の減少により基準財政需要額も増加したことが主な要因である。

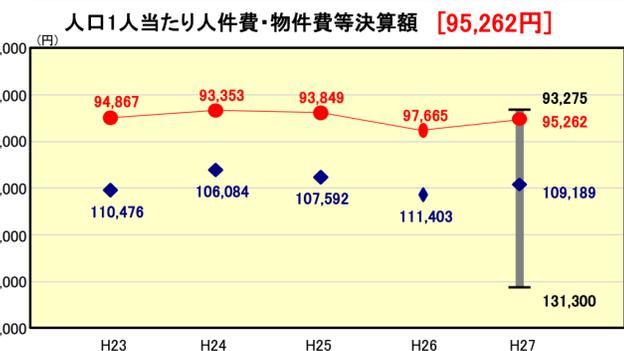
財政構造の弾力性



類似団体内順位 8/15 全国平均 90.0 東京都平均 88.1

経常収支比率の分析欄
 平成27年度の経常収支比率は90.3%となり、前年度2.6ポイント減少した。しかし、類似団体内平均値が90%を下回る中で、平成26年度から引き続き90%を超えるなど、依然として財政構造の硬直化が課題である。減少した主な要因としては、分子である民間等保育所運営事業や幼稚園・認定こども園施設型給付事業などの扶助費に増加が見られたものの、分母である地方消費税交付金等が分子の増加を上回る伸び率で増加したためである。将来に向けて、市税増収に向けた徴収強化の取組に加え、さらなる経常経費の抑制、行政経営改革を継続する必要がある。

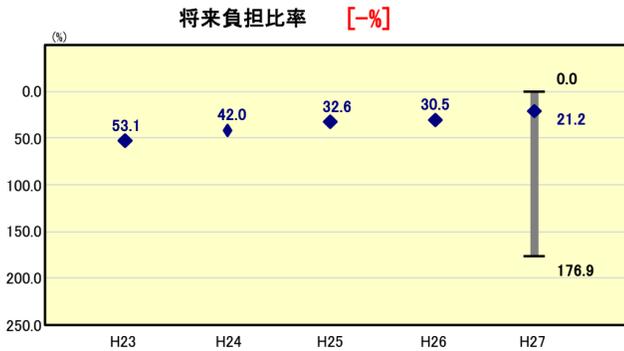
人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 2/15 全国平均 121,920 東京都平均 120,624

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人口1人当たり人件費・物件費等は類似団体内平均値と比較して低い額に抑えられている。人件費は平成26年度と比較して2億7千万円増加した。職員給(一般職員の給与・諸手当)は145億7千万円で、最も職員給の多かった平成10年度に比べ38億8千万円の減少となり、職員数についても平成8年度のピーク時に比べ、258人の削減となっており、現在も継続して定数配分の適正化を図っている。物件費は平成26年度と比較して8.4億円減少した。今後も物品の管理を適正に行うなど、経常的にかかる経費の削減に努める。

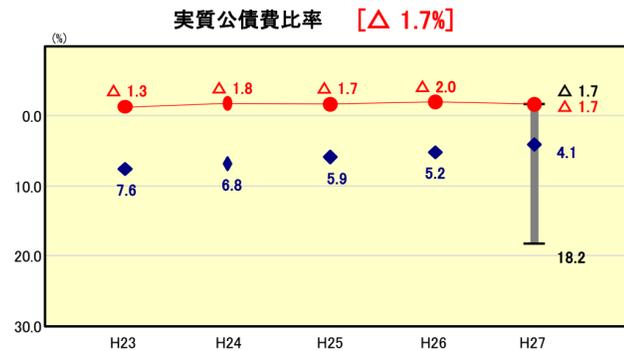
将来負担の状況



類似団体内順位 1/15 全国平均 38.9 東京都平均 0.0

将来負担比率の分析欄
 平成27年度は、将来負担額1,216億円に対し、控除される充当可能財源等が1,227億円となり、差引の結果将来負担比率が生じていない。しかし、平成26年度と比較して地方債現在高は増加し、充当可能特定歳入が減少している。主な要因としては、学校教育施設等整備事業(15.7億円)や子どもセンター整備事業(6.5億円)等にかかる地方債の発行などにより、地方債現在高が13.8億円増加したことによる。今後も、将来負担の増大を招くことのないよう地方債の管理を徹底する。

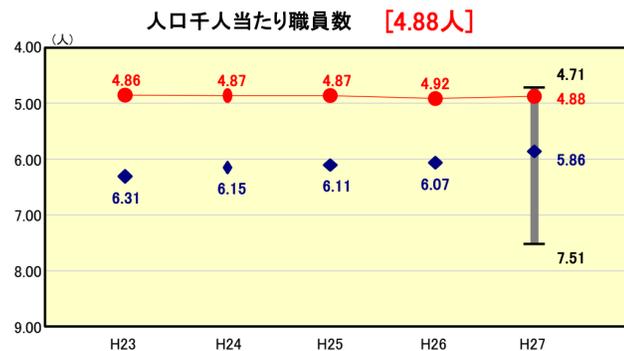
公債費負担の状況



類似団体内順位 1/15 全国平均 7.4 東京都平均 △1.4

実質公債費比率の分析欄
 平成26年度と比較して0.3ポイント上昇したものの、類似団体においては引き続き1位と良好な状況である。上昇した主な要因としては、臨時財政対策債発行可能額が減少した一方で、地方消費税交付金の増などにより、基準財政収入額が増加したためである。今後も適正水準の維持を目指す。

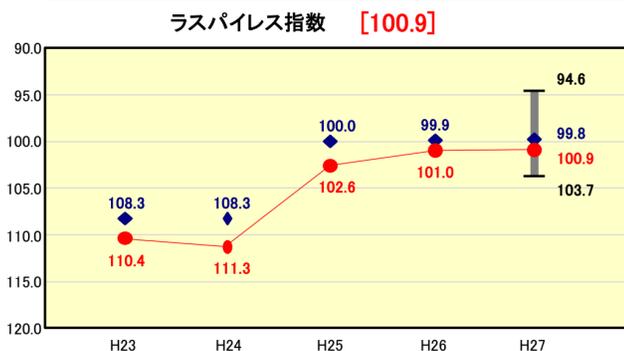
定員管理の状況



類似団体内順位 3/15 全国平均 6.96 東京都平均 5.96

人口千人当たり職員数の分析欄
 平成28年4月の職員数は、国勢調査事務の終了、社会保障・税番号制度導入準備終了、学校給食業務の委託及び学校用務業務の委託等の減員により、平成27年度と比較して普通会計全体で16人の減となり、人口千人当たり職員数は前年度の値よりも0.04人の減となった。町田市新5か年計画(行政経営改革プラン)では、『定数』を「市の事務を執行するために必要な職員の数」と定義し、平成28年度の定数を平成23年度の定数と同数の2,262人とすることを目標として定めている。平成28年度の定数は目標より67人少ない2195人であり、より効率的な執行体制を構築した。今後は社会情勢等の環境変化を踏まえ、市職員の役割の再整理及び業務の簡素化・効率化を推進し、適切な定数管理に努める。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 10/15 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄
 平成23年1月から東京都の給料表を導入しラスパイレス指数が前年度より1.0ポイント改善するなど一定の成果を挙げた。平成24年度に国が給与減額を実施したため一時的に上昇したが、平成25年度で終了したため、以前の水準に戻った。平成27年度から実施している「給与制度の総合的見直し」による給料月額平均△1.7%引下げの実施により、ラスパイレス指数が前年度より0.1ポイント改善した。平成28年度も東京都人事委員会勧告を参考に給与制度の適正化に向けた取組みを行った結果、着実に成果を挙げている。また、ラスパイレス指数には直接影響がないが、平成24年度からは全職員を対象に前年度の人事考課の結果を昇給及び勤勉手当に反映を実施し、平成25年度からは初任給の算定方法の見直しや管理職手当の定額化、住居手当の支給額の見直しなどを実施し、平成27年度からは扶養手当や住居手当、期末勤勉手当の職務加算割合の見直しを実施しており、今後もより一層の給与制度の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

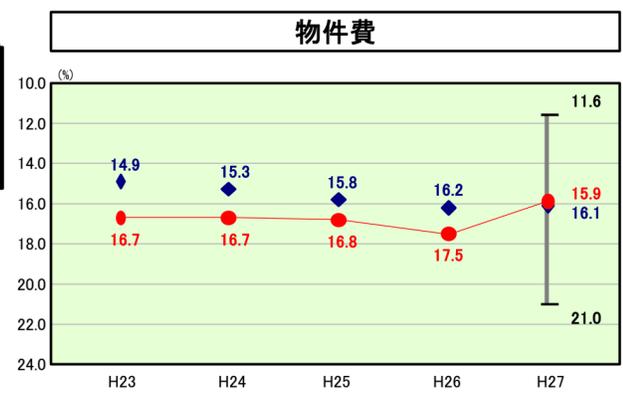
東京都町田市

経常収支比率の分析

人口	426,937	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	421,793	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	71.80	km ²	実質公債費比率	-1.7	%
歳入総額	147,811,172	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	142,853,477	千円	市町村類型	H23 IV-1 H24 IV-1 H25 IV-1	
実質収支	4,957,695	千円	(年度毎)	H26 IV-1 H27 IV-1	
標準財政規模	76,655,268	千円			



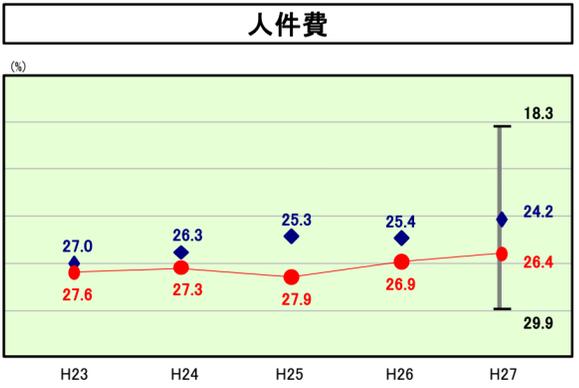
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 8/15 全国平均 14.3 東京都平均 17.4

物件費の分析欄

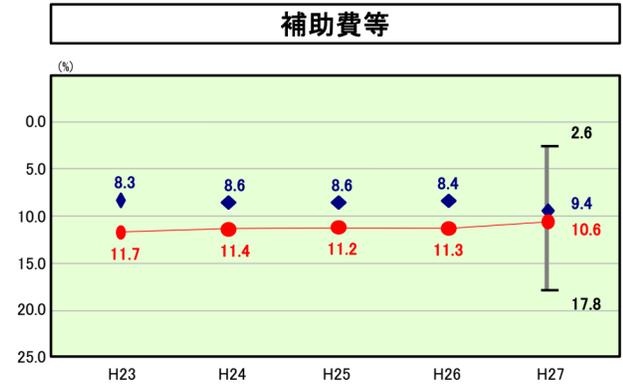
物件費に係る経常収支比率は、平成26年度と比較して1.6ポイント改善した。これは、市庁舎や小中学校において、光熱水費の単価や使用量が減少したことなどが主な要因である。



類似団体内順位 11/15 全国平均 23.3 東京都平均 23.3

人件費の分析欄

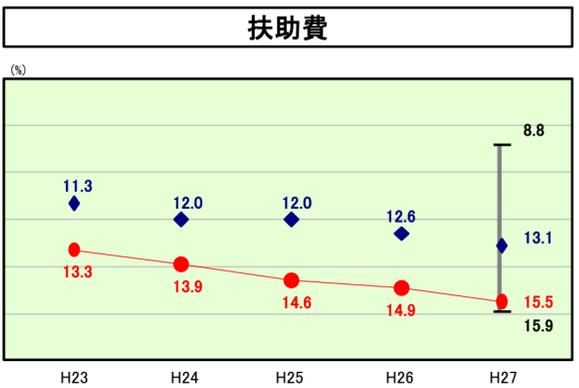
人件費に係る経常収支比率は、前年度と比較して0.5ポイント改善した。経常収支比率は類似団体内平均値を上回っているが、人口1人当たりの、職員給料決算額については18,968円となっており、類似団体平均値22,148円や全国市町村平均値25,845円と比較して低い水準となっている。



類似団体内順位 9/15 全国平均 10.0 東京都平均 10.7

補助費等の分析欄

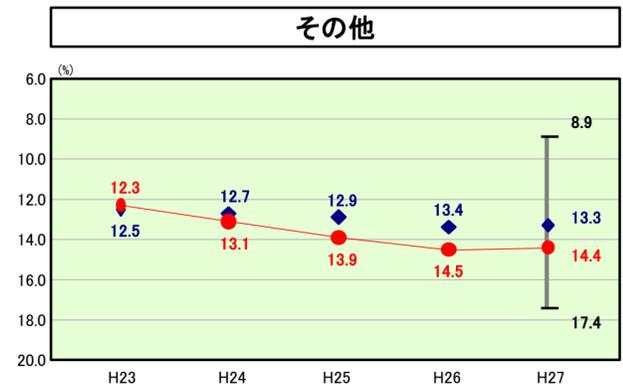
補助費に係る経常収支比率は、平成26年度と比較して0.7ポイント改善した。しかし、常備消防委託料、病院事業会計負担金、東京たま広域資源循環組合負担金や南多摩斎場組合負担金の占める割合が大きく、各団体での健全化を図る必要がある。



類似団体内順位 13/15 全国平均 11.8 東京都平均 14.5

扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、平成26年度と比較して0.6ポイント上昇した。扶助費は、社会保障制度の一環として様々な法律・条例に基づいて支出するため、容易に削減・圧縮できず、障がい者自立支援給付費や民間等保育所運営費、生活保護費などが年々増加傾向にあることが影響している。



類似団体内順位 12/15 全国平均 13.2 東京都平均 12.7

その他の分析欄

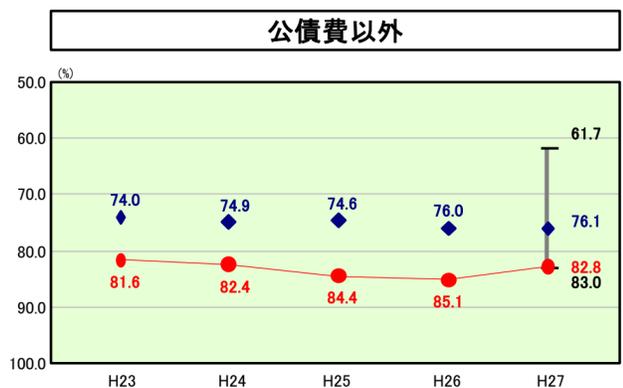
その他に係る経常収支比率は、平成26年度と比較して0.1ポイント改善した。しかし、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、下水道事業会計、国民健康保険事業会計に対する一般会計からの繰出金の占める割合が大きく、各特別会計の健全化を図る必要がある。



類似団体内順位 2/15 全国平均 17.4 東京都平均 9.5

公債費の分析欄

公債費に係る経常収支比率は、平成26年度と比較して0.3ポイント改善し、類似団体内順位も2位と上位を保っている。公債費は、過去に発生した債務の支払いに要する経費であり、借入れをする時点で将来の財政負担を十分検討することが必要である。今後も適正な管理に努める。



類似団体内順位 14/15 全国平均 72.6 東京都平均 78.6

公債費以外の分析欄

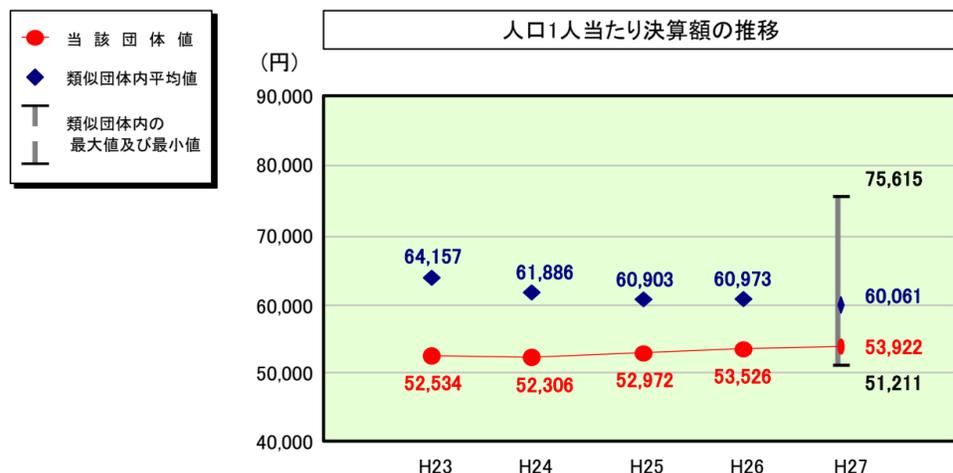
公債費以外の支出に係る経常収支比率は、平成26年度と比較して2.3ポイント改善した。しかし、扶助費や繰出金など、社会保障関係経費の増加が要因となり、類似団体内平均値76.1%と比較して依然として高い傾向が続いている。さらなる経常経費の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

東京都町田市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

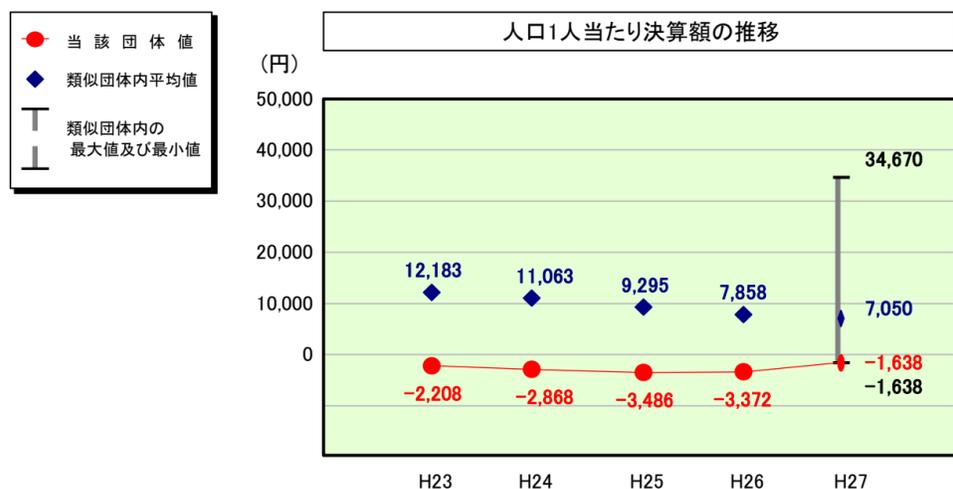
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	22,504,005	52,710	57,806	▲ 8.8
賃金 (物件費)	402,470	943	2,609	▲ 63.9
一部事務組合負担金 (補助費等)	129,475	303	989	▲ 69.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	450,827	1,056	648	63.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	933,262	2,186	2,272	▲ 3.8
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	350,476	821	858	▲ 4.3
▲退職金	▲ 1,749,021	▲ 4,097	▲ 5,120	▲ 20.0
合計	23,021,494	53,922	60,061	▲ 10.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	4.88	5.86	▲ 0.98
ラスパイレス指数	100.9	99.8	1.1

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

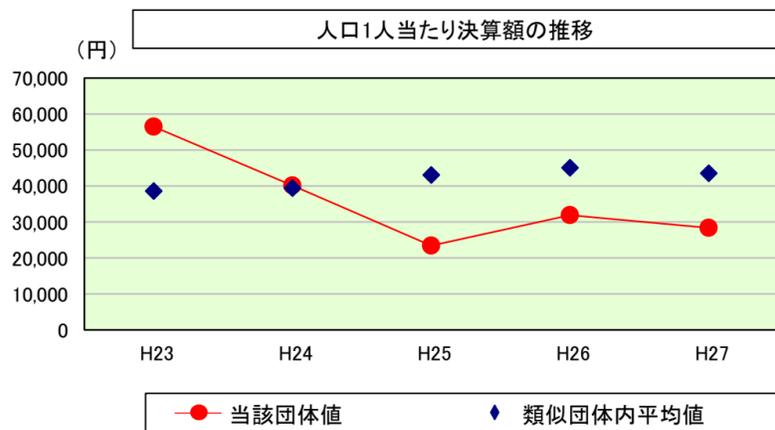


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	6,052,086	14,176	30,148	▲ 53.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	27	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	22	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,630,714	3,820	7,102	▲ 46.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	201,736	473	981	▲ 51.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	326,533	765	1,487	▲ 48.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 2,425,463	▲ 5,681	▲ 7,535	▲ 24.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 6,484,826	▲ 15,189	▲ 25,182	▲ 39.7
合計	▲ 699,220	▲ 1,638	7,050	▲ 123.2

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H23	23,721,661	56,447	76.0	38,606	2.4	73.6
うち単独分	19,410,186	46,188	85.7	22,435	▲ 1.0	86.7
H24	17,130,388	40,193	▲ 28.8	39,425	2.1	▲ 30.9
うち単独分	13,151,994	30,858	▲ 33.2	22,414	▲ 0.1	▲ 33.1
H25	9,983,241	23,423	▲ 41.7	43,141	9.4	▲ 51.1
うち単独分	6,393,607	15,001	▲ 51.4	21,887	▲ 2.4	▲ 49.0
H26	13,623,091	31,931	36.3	45,117	4.6	31.7
うち単独分	8,587,286	20,127	34.2	25,589	16.9	17.3
H27	12,095,477	28,331	▲ 11.3	43,532	▲ 3.5	▲ 7.8
うち単独分	8,212,543	19,236	▲ 4.4	25,435	▲ 0.6	▲ 3.8
過去5年間平均	15,310,772	36,065	6.1	41,964	3.0	3.1
うち単独分	11,151,123	26,282	6.2	23,552	2.6	3.6

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

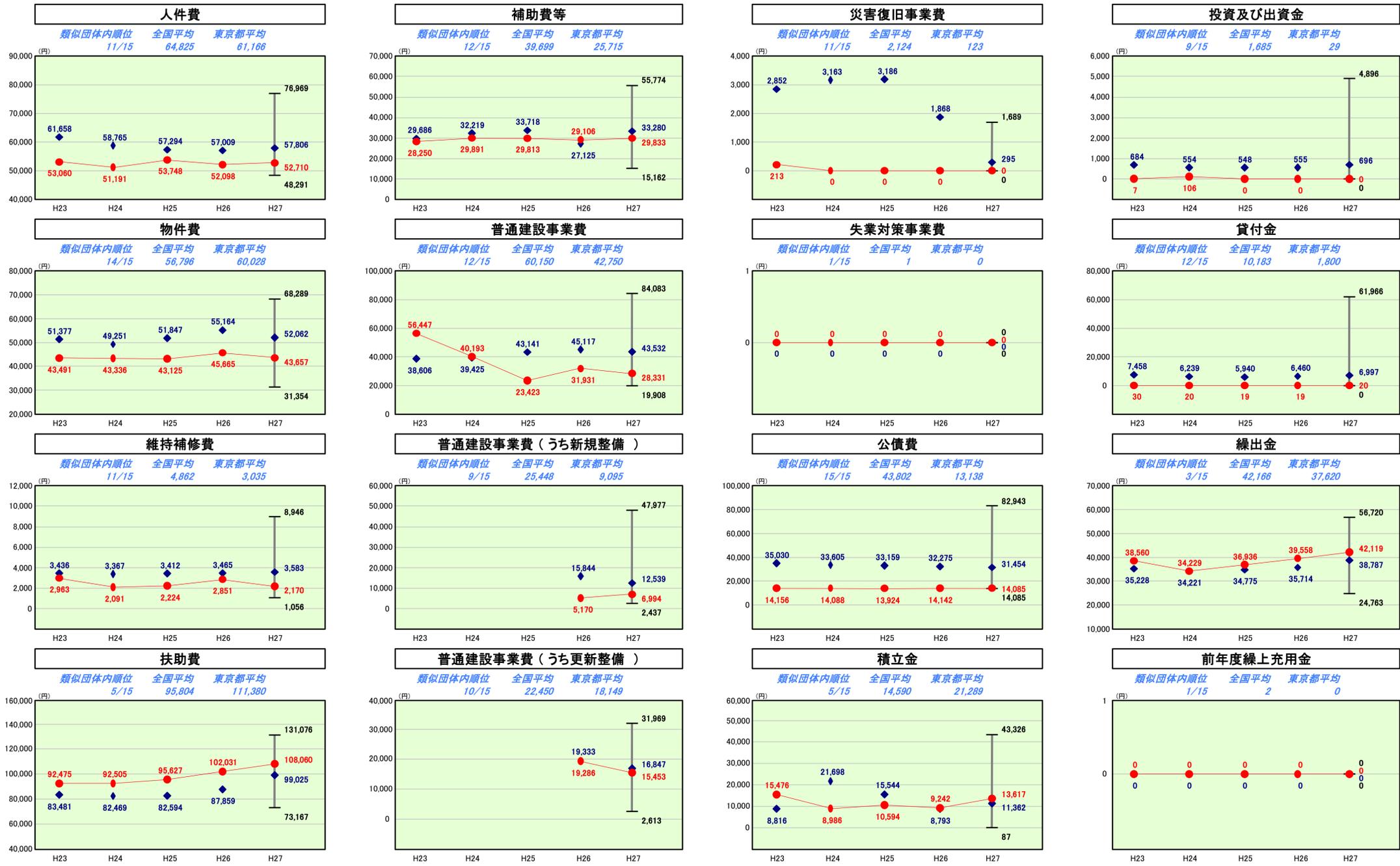
平成27年度

東京都町田市

人口	426,937	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	421,793	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	71.80	km ²	実質公債費比率	-1.7	%	
歳入総額	147,811,172	千円	将来負担比率	-	%	
歳出総額	142,853,477	千円	市町村類型	H23 IV-1	H24 IV-1	H25 IV-1
実質収支	4,957,695	千円	(年度毎)	H26 IV-1	H27 IV-1	
標準財政規模	76,655,268	千円				
地方債現在高	75,007,656	千円				

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の
- └ 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄
 歳出決算総額は、住民一人当たり334,601円となっている。
 扶助費及び繰出金について、それぞれ住民一人当たり108,060円、42,119円となっており、類似団体内平均や東京都平均と比較して一人当たりコストが高い状況となっており、さらに年々増加傾向にある。
 扶助費については、障がい者自立支援給付費や民間等保育所運営費、生活保護費などの増加が主な要因である。
 繰出金については、国民健康保険事業会計や後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計への繰出金が増加傾向にあり、扶助費と合わせて社会保障関係経費の増加が表れている。
 これらは社会保障制度の一環として様々な法律・条例に基づいて支出されるため圧縮が難しい経費であり、各会計の健全化が課題となる。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

東京都町田市

人口	426,937	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	421,793	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	71.80	km ²	実質公債費比率	-1.7	%	
歳入総額	147,811,172	千円	将来負担比率	-	%	
歳出総額	142,853,477	千円	市町村類型	H23 IV-1	H24 IV-1	H25 IV-1
実質収支	4,957,695	千円	(年度毎)	H26 IV-1	H27 IV-1	
標準財政規模	76,655,268	千円				
地方債現在高	75,007,656	千円				

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

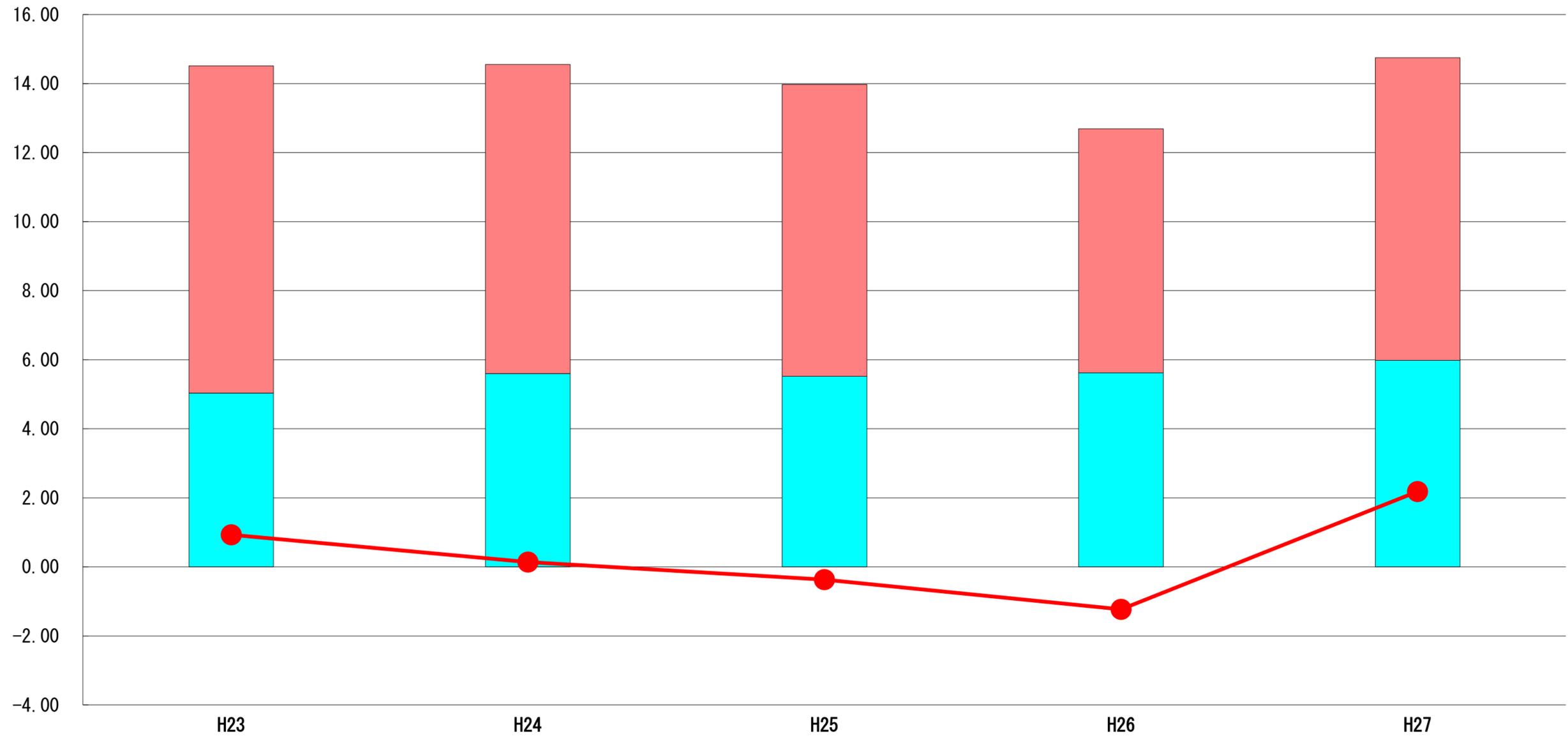
民生費及び衛生費について、それぞれ住民一人当たり167,698円、30,765円となっており、類似団体内平均と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。民生費については、年々増加傾向にあり、性質別歳出決算分析表でも示したとおり、扶助費及び繰出金などの社会保障関係経費の増加が影響している。衛生費については、平成26年度まではほぼ横ばい傾向にあったが、平成27年度で増加した。これは、主に清掃工場の設備更新、改修工事などによるものである。今後、循環型施設の整備が予定されており、さらに増加することが見込まれる。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成27年度

東京都町田市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
 財政調整基金残高		9.48	8.95	8.45	7.07	8.77
 実質収支額		5.03	5.60	5.52	5.62	5.98
 実質単年度収支		0.93	0.14	▲ 0.37	▲ 1.23	2.18

分析欄

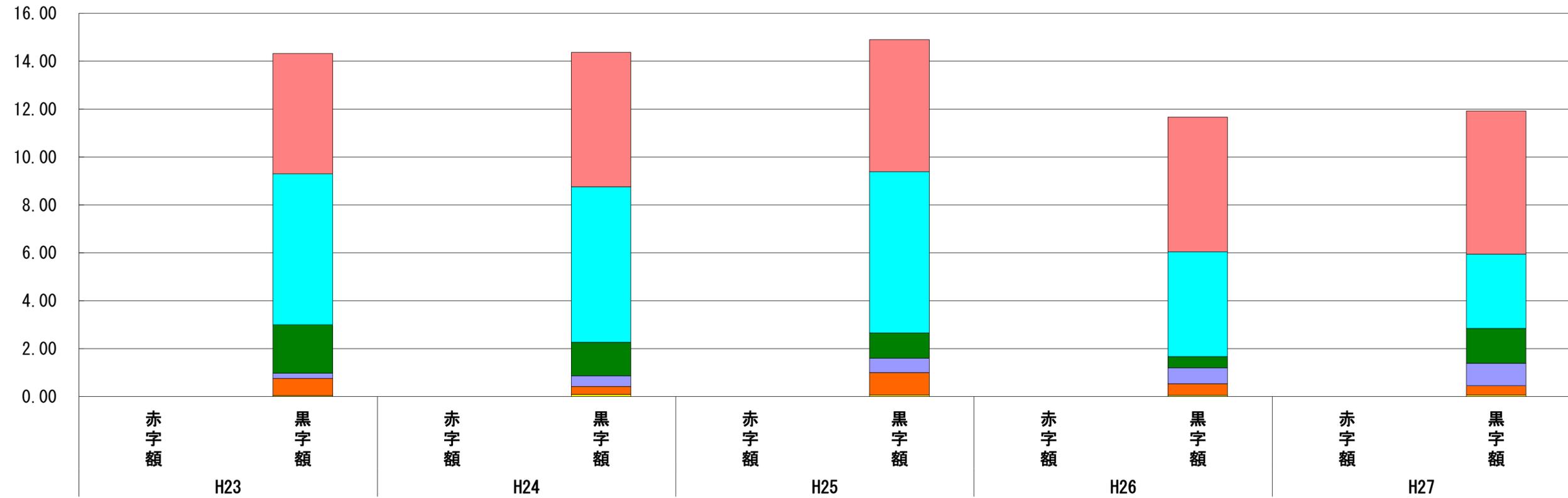
実質収支比率は黒字で推移しているが、直近5年間のうち、平成25年度と平成26年度は積立金取崩額が積立金を大きく上回ったことにより実質単年度収支で赤字となっている。一方、平成27年度においては、積立金が大きく伸びたことにより、高い水準となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成27年度

東京都町田市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
一般会計		5.02	5.60	5.51	5.62	5.97
町田市病院事業会計		6.30	6.49	6.73	4.38	3.10
町田市国民健康保険事業会計		2.02	1.40	1.06	0.47	1.46
町田市介護保険事業会計		0.22	0.44	0.60	0.66	0.93
町田市下水道事業会計		0.71	0.34	0.93	0.48	0.39
町田市後期高齢者医療事業会計		0.05	0.09	0.07	0.06	0.07
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	-	-	-

分析欄

一般会計、特別会計ともに黒字での推移が続いている。しかし、今後は高齢社会への進展による、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療事業の各会計への影響が見込まれる。特別会計についても、一般会計に準じた予算執行を図るとともに、独立採算性の原則のもと、経済情勢の推移に十分留意し、中・長期の収支を見通した上で、積極的な財源確保と合理的かつ効率的な事業運営と経営基盤の強化に努める。

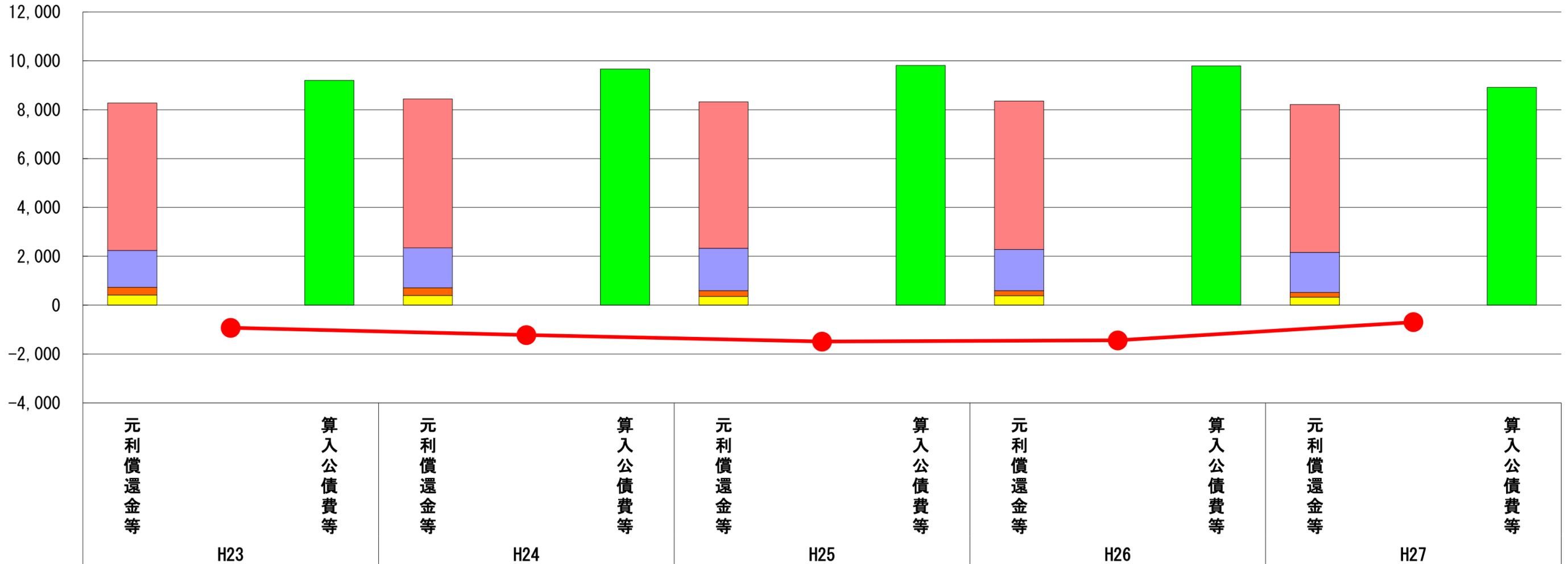
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

東京都町田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		6,035	6,090	5,997	6,072	6,052
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,510	1,633	1,729	1,687	1,631
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		317	320	240	203	202
	債務負担行為に基づく支出額		413	395	356	391	327
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		9,204	9,661	9,808	9,793	8,909
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		▲ 929	▲ 1,223	▲ 1,486	▲ 1,440	▲ 697

分析欄

今後、循環型施設の整備、南町田駅周辺地区拠点整備、学校施設の増改築などによる地方債元利償還金の増加が見込まれるため、市債発行に際しては後年度の公債費を推計し、影響を考慮して発行額を決定するなど、適正水準の維持に努める。

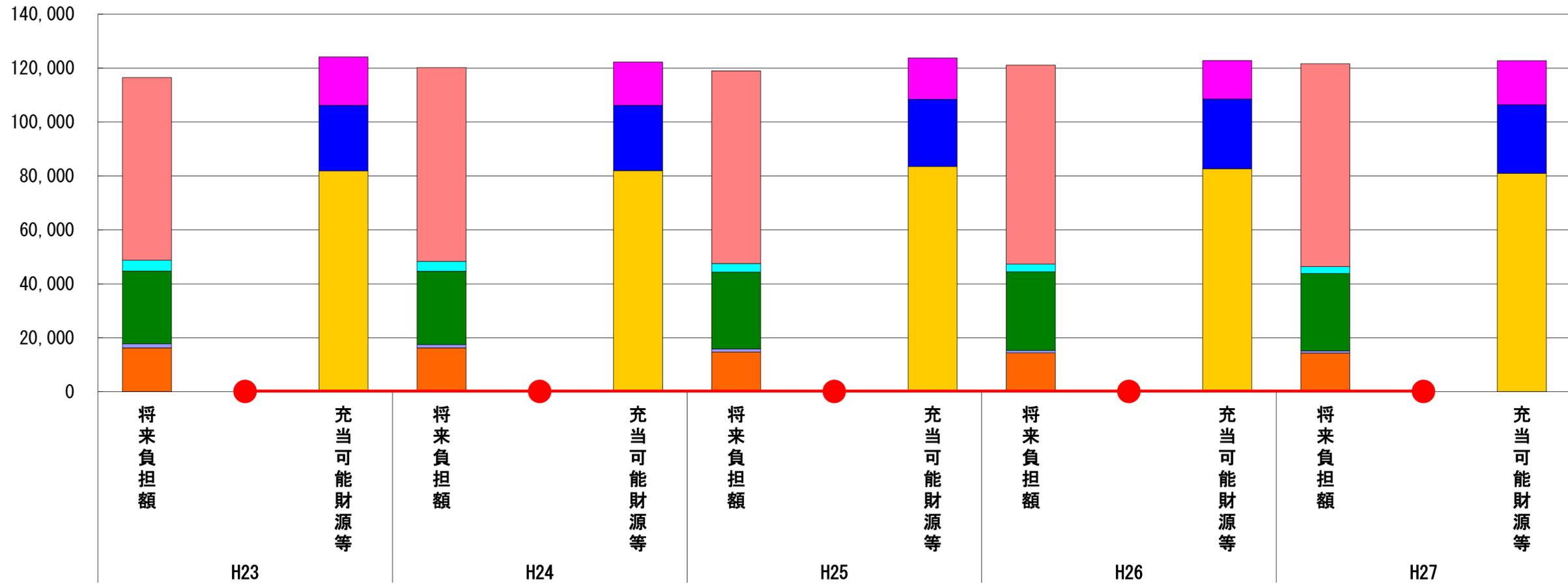
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

東京都町田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		67,746	71,757	71,394	73,810	75,194
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,970	3,671	3,181	2,799	2,594
	公営企業債等繰入見込額		26,966	27,269	28,563	29,189	28,742
	組合等負担等見込額		1,502	1,221	1,066	909	729
	退職手当負担見込額		16,274	16,209	14,752	14,378	14,347
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		17,921	16,044	15,343	14,212	16,343
	充当可能特定歳入		24,383	24,211	24,886	25,843	25,519
	基準財政需要額算入見込額		81,823	81,977	83,499	82,649	80,885
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 7,669	▲ 2,106	▲ 4,772	▲ 1,620	▲ 1,140

分析欄

一般会計等に係る地方債等の債務残高に対して、基金などの充当可能財源額が上回っているため、将来負担は生じていない。平成27年度は、前年度と比較して、将来負担額、充当可能財源等がともに増加している。今後も地方債や基金の管理を徹底する。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。